

# 鹿市医狂壇



## 兼題「帰省（もどつ）」

553 横口 一風 選

天

**帰省てん毎晩友人し会け鉄砲玉**

紫南支部 加治屋大好

(唱) 人気があつて友達しや放とかじ

(評) 若い頃の友達というのは、小中高校の同級生や幼馴染などでしょう。故郷に残っている友達は、都会のニュースに飢えています。都会に出た人は、故郷に残った幼馴染の、消息を聞きたくてたまらないのです。

帰省した、両親には一応の挨拶はしますが、足は友達の方に向いています。

「鉄砲玉」が効きました。家を出たら行き先は分かりません。

お母さんは、歳を取るにつけて涙もろくなってきました。息子達から電話が来る度に涙ぐんでいます。

孫でも出来ると、早く連れておいでと矢の催促です。子供にも、それぞれの都合もあるが、母の「涙声」は絶対でスルーする訳にはいきません。

人

上町支部 吉野なでしこ

**帰省たやあちこち歩つ忙し孫**

伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 楽しかったが非常に疲れつ

(評) 「来てうれし帰つてうれし」と言う川柳のフレーズがあります。孫が来るとき、可愛くて楽しくてうれしくて堪りませんが、二三日たつと、面倒を見るのに疲れ果ててしまいます。

歩き始めた孫と、公園などに行くと一時もじつとしているさまま、まさに噴き出さずにはおれない光景であります。

帰つて行くと、ほつとします。

佳作

上町支部 吉野なでしこ

**氣晴らしち小遣をせびい帰省来つ**

伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 心も懐も暖け故郷

(評) 渡いに舟で有難て出張

五客三席 伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) やっぱり故郷あ空氣も美味め

五客四席 伊敷支部 谷山五郎猫

(唱) 何ゆ料理ろかいち気が休まらじ

五客一席 伊敷支部 谷山五郎猫

**帰省來ち母ん電話は涙声**

(唱) 元気きあつうち孫をば見せち

(評) 子供たちは、都会に出て行つたきりで、久しく帰つていないので、お母さんは子供に、会いたくてたまらないのです。

## 秀逸

五客一席 紫南支部 二軒茶屋電停

**帰省來た孫ん姿が凜々しゅなつ**

(唱) 歩つ姿も若け時の俺

五客二席 伊敷支部 谷山五郎猫

**子ん帰省や凄つぜ嬉しが母あ騒動**

(唱) 何ゆ料理ろかいち気が休まらじ

五客三席 伊敷支部 谷山五郎猫

**帰省着て駅かあ出れば鹿児島弁**

(唱) やっぱり故郷あ空氣も美味め

五客四席 伊敷支部 谷山五郎猫

**帰省來ち母ん電話は涙声**

(唱) 元気きあつうち孫をば見せち

五客五席 市立病院支部 上荒田三十郎

**学会の序で帰省い墓参い**

(唱) 渡いに舟で有難て出張

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**帰省度び故郷あ区画整理で遠おけなつ**

(唱) 渡いに舟で有難て出張

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**山んごつ仕残しやあつて最早師走**

(唱) まさかん病め全部狂つ

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**リハビリン部屋が爺婆ん社交の場**

(唱) 歌を歌とたい遊戯をしたい

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**山んごつ仕残しやあつて最早師走**

(唱) まさかん病め全部狂つ

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**リハビリン部屋が爺婆ん社交の場**

(唱) 歌を歌とたい遊戯をしたい

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**山んごつ仕残しやあつて最早師走**

(唱) まさかん病め全部狂つ

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**リハビリン部屋が爺婆ん社交の場**

(唱) 歌を歌とたい遊戯をしたい

五客五席 伊敷支部 谷山五郎猫

**山んごつ仕残しやあつて最早師走**

(唱) まさかん病め全部狂つ

## 狂句募集